

+ 安全だより

(公社) 大館市シルバー人材センター

安全・適正就業委員会 No.53

STOP! 転倒災害

昨年は当センターでも転倒事故が数件発生しています、私は「大丈夫」の過信は捨てましょう。

加齢と転倒災害

加齢により身体強度や運動機能が低下するため、転倒しやすく、わずかなつまずきであっても被災の重篤度が高まる傾向があり、自分の身体的能力を過信しないことが重要です。

- ① 平衡性 足腰の筋力が衰え、歩行中に足を上げる高さが低くなると躓きやすくなります。
- ② 敏捷性 危険を迅速に回避するための危険回避能力が加齢と共に急速に衰えます。
- ③ 視認性 目が暗さに順応するまでにかなりの時間を要すようになり、薄暗い場所での段差視認性が落ちます。

※高齢者の転倒災害発生原因（身体的に感じる）

「体のバランスが思うようにとれなかった」

「気持ちが先走り体がついて行かなかった」

「手足腰が弱くなった」・・・といった要因が多くなっています。

※高齢者が転倒すると、けがをするだけでなく寝たきりや認知症の発症など

介護レベルが上がる可能性もあります。



冬季における転倒防止対策

冬季は、積雪や路面の凍結などにより転倒災害が多く発生する傾向があります。

次の4つに留意して転倒災害を防ぎましょう。

1 天気予報に気を配る

寒波が予想される場合は、不要不急の外出を避けるなど対策をとりましょう。

2 時間に余裕をもって歩行、作業を行う

時間に余裕をもって行動し、落ち着いて作業をしましょう。

3 駐車場や出入口の除雪・融雪は万全に

駐車場などから就業場所まで通路は、除雪や融雪剤を散布しましょう。

4 適切な履物、歩行方法などを知る

作業や冬道に適した履物を選びや、雪道や凍った路面上歩き方の練習。

危険な場所を知り予防しましょう

●過去の転倒災害から見た・・・ワースト3

- 1位 通路（駐車場から自宅など）
- 2位 駐車場内
- 3位 出入口（段差・スロープなど）

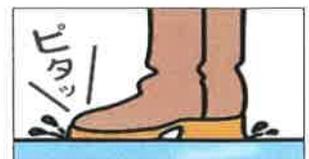
●スベリやすい場所では・・・

除雪、融雪、砂敷き、マット、注意表示など、防止策を行いましょう。

正しい靴を選び、意識して歩きましょう

●靴を選ぶポイント

靴底の形状	長 所	短 所
金属ピンタイプ	アイスパーンに強い	床・タイルでは滑りやすい
深い溝タイプ	湿雪でのグリップが強い	アイスパーンで滑る
柔らかいゴムタイプ	スタッドレスタイヤの効果あり	経年劣化のリスクがある
滑り止め配合ゴムタイプ	ガラス繊維・アルミ粒子の効果あり	配合剤により大差がある



安全就業はすべてに優先します

安全就業は、センターにとって最も重要な課題のひとつです！
傷害事故や健康障害が起これぬよう、全会員が一致して安全就業・健康管理及び交通安全の確保に努め、安全就業に取り組むことが大切です。

センターでは、会員の安全就業のため、安全・適正就業委員会が中心となり、会員や職員の安全就業に対する意識の向上に取り組んでいます。

センターの安全就業基準並びに安全心得を遵守し就業してください。

しかし、万が一事故が起きた場合の為に、入会と同時に全会員がシルバー人材センター保険に加入します。センターが提供する仕事をしているときや、就業先への往復途中に万が一事故が起きた場合は「シルバー人材センター団体傷害保険」及び「シルバー人材センター賠償責任保険」が適用されます。

ケガをしたとき！

各自の健康保険証を使い、医師の治療を受けてください。



事故の状況を早急にセンターへ連絡してください。



ケガの治療に専念してください。



完治までの期間等をセンターに連絡してください。保険請求の手続きを行います。



損害をあたえたとき！

事故の状況を早急にセンターへ連絡してください。

緊急連絡先は、**49-4088** 何かに記入し、持ち歩きましょう。



具体的なお話し合いはセンターが当たります。

会員の勝手な判断による発言や行動は絶対にしないでください。



センターが賠償責任保険の手続きを行います。

シルバー大館
49-4088

安全就業のために

安全の心得 10ヶ条

1 作業は安全第一を心がけ、急いだりあわてたりしないようにしましょう。

2 器具類は使用する前に必ず点検しましょう。

3 服装・履物は作業にあった動きやすいものにしましょう。



4 作業前には準備体操をして体をほぐしましょう。

5 加齢による、諸機能の低下を十分に認識し、無理のないようにしましょう。

6 就業現場は常に整理整頓を心がけましょう。

7 共同作業では、合図・連絡を正確に行いましょう。

8 酒気を帯びての就業は絶対に慎みましょう。



Zzz...

9 健康には常に注意し、健康な状態で就業するようにしましょう。

10 就業の前日は、十分に睡眠をとりましょう。